

7.17 景観

7.17.1 調査

(1) 調査方法

1) 調査項目

景観の調査項目を表 7.17.1-1 に示す。

表 7.17.1-1 景観の調査項目

調査項目	文献その他の資料	現地調査
眺望景観の状況	○	○
圍繞景観の状況	○	○

2) 調査地域

眺望景観は、事業実施区域から 5.5km を基準とし、内陸側は尾根線の 6.2km の範囲とした (図 7.17.1-1)。

また、圍繞景観は、事業実施区域及び周辺とした (図 7.17.1-2)。

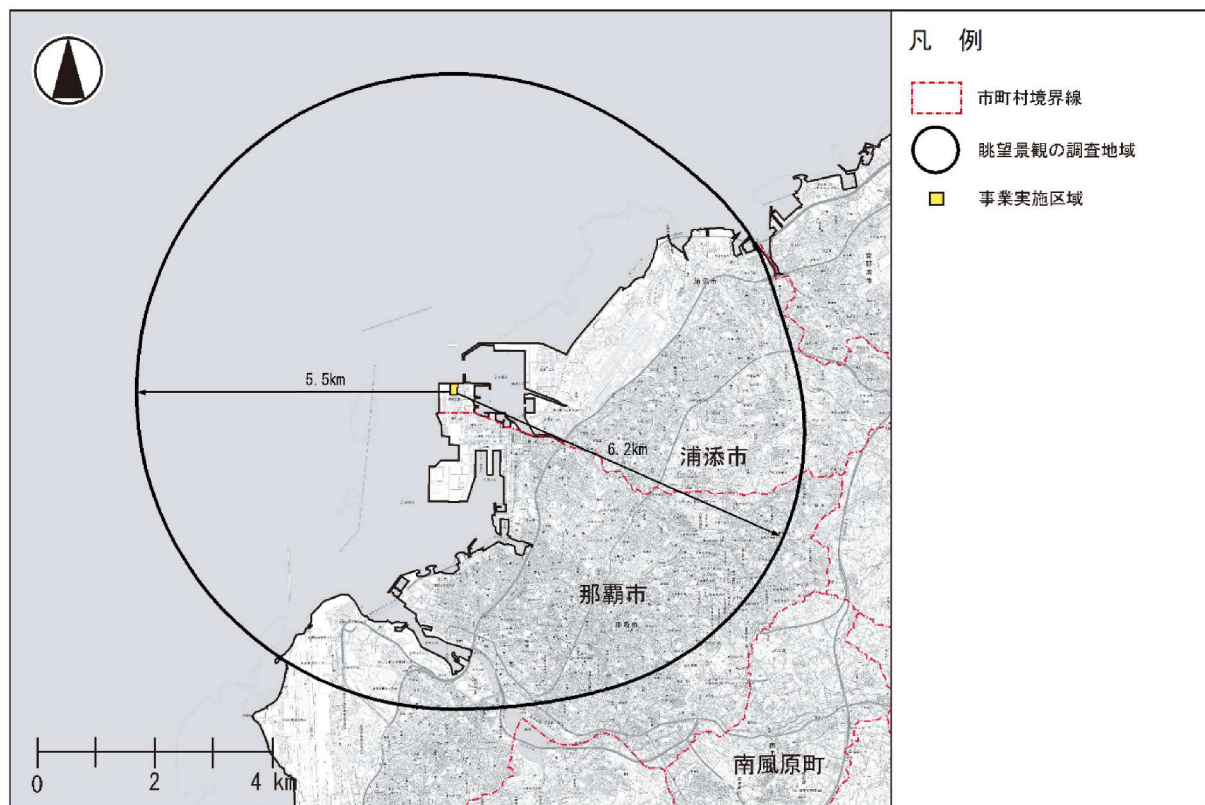


図 7.17.1-1 眺望景観の調査範囲

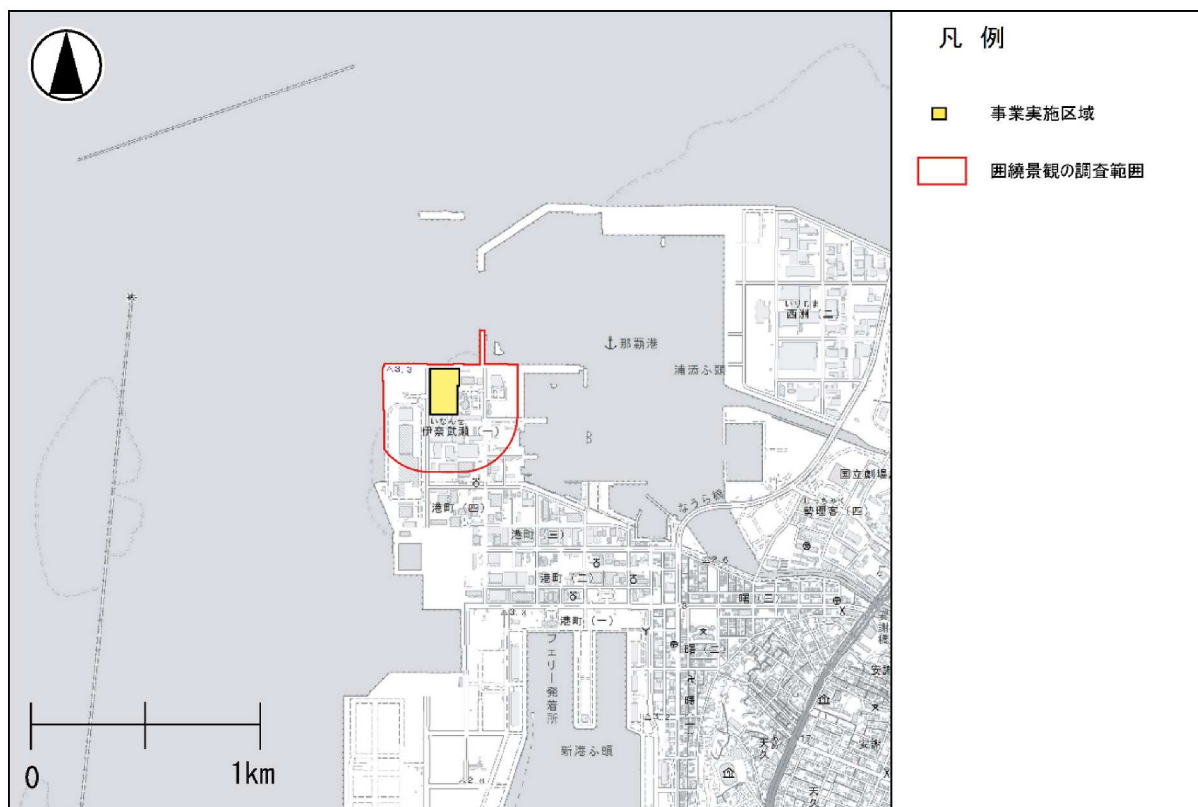


図 7.17.1-2 困繞景観の調査範囲

3) 調査方法

① 眺望景観の状況

a. 文献その他の資料調査

文献等の既存資料収集整理により、主要な眺望点の分布及び状況の把握を行った。

b. 現地調査

眺望景観の現地調査時期を表 7.17.1-2 に示す。

表 7.17.1-2 眺望景観の現地調査時期

調査項目	調査時期	
	眺望景観	秋季

c. 調査方法

「主要な眺望点の状況」、「景観資源の状況」については、既存の文献資料等により把握した。また、「主要な眺望景観の状況」については、現地調査を実施し、写真撮影により視覚的に把握した。

なお、主要な眺望点とは、「不特定多数のものが利用している景観資源を眺望する場所」であり、主要な景観資源とは、「景観として認識される自然的構成要素として位置づけられるもの」とし、主要な眺望点と主要な景観資源については表 7.17.1-3 及び表 7.17.1-4 に示す選定基準を参考に抽出した。

表 7. 17. 1-3 主要な眺望点

No.	抽出基準
1	地形図及び地方公共団体等の観光資料などにあげられている展望台など
2	地形図記載の峠で眺望の良い場所
3	キャンプ場、ハイキングコース、自然遊歩道等の野外レクリエーション地で眺望の良い場所
4	観光道路上で眺望の良いパーキング、道の駅等の眺望の良い場所
5	集落周辺の眺望の良い場所、寺社等地域に密着した眺望の良い場所
6	文化財保護法や条例で指定された自然的構成要素と一体をなす名勝のうち、眺望地点として指定されているもの

出典：「道路環境影響評価の技術手法 2007 改訂版 第 3 巻」(2007 年 9 月、財団法人道路環境研究所)

表 7. 17. 1-4 主要な景観資源

要素	内容
名勝	文化財保護法、条例で指定された自然的構成要素と一体をなすもの
自然遺産	世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条例で登録されているもの
景観資源	「第三回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査報告書」(環境省)で選定されているもの
自然景観資源	地方公共団体の条例で指定されている自然景観資源、市町村要覧、観光関連資料等で記載されている自然景観資源

出典：「道路環境影響評価の技術手法 2007 改訂版 第 3 巻」(2007 年 9 月、財団法人道路環境研究所)

② 圍繞景観の状況

a. 文献その他の資料調査

文献等の既存資料収集整理により、圍繞景観の分布の把握を行った。

b. 現地調査

圍繞景観の調査時期については、「①眺望景観の状況」と同じ時期とした。

c. 調査方法

調査方法は、環境庁(現環境省)がまとめた報告書「環境影響評価技術検討会中間報告書 自然環境のアセスメント技術Ⅱ」(平成 12 年 9 月)における圍繞景観を把握するための調査の考え方に準じ、実施した。

調査項目及び調査方法を表 7. 17. 1-5 に、圍繞景観の状態を把握するための項目を表 7. 17. 1-6 に、ヒアリング調査の調査範囲を図 7. 17. 1-3 に示す。

(2) 調査結果

1) 眺望景観の状況

① 文献その他の資料調査

文献その他の資料調査については、「第3章 3.3.6 景観」に示すとおりである。

② 現地調査

a. 主要な眺望景観の状況

眺望地点の抽出については、地形図等の既存資料により可視領域内に分布する主な眺望地点を調査した結果、図 7.17.1-4 に示すとおり 19 地点を抽出した。抽出した 19 地点の眺望状況を表 7.17.1-7(1)～(2)及び写真 7.17.1-1(1)～(11)に示した。

表 7.17.1-7(1) 眺望地点における眺望状況

番号	地点名	眺望距離 (km)	夜間における撮影の有無	視認性		備考
				日中	夜間	
1	西洲	1.1	×	○	—	事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
2	空寿崎	4.5	○	○	×	事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
3	宮城公園	3.7	○	○	×	公園内の高台より事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
4	伊祖公園	5.2	○	○	×	公園内の高台より事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
5	浦添大公園	5.4	○	○	×	公園内の展望台より事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
6	浦添城跡	5.7	○	○	×	事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
7	浦添市役所	5.0	×	○	—	9階展望台より事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
8	虎瀬山（虎瀬公園一帯）	5.9	○	○	×	事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
9	沖縄県庁	4.2	×	○	—	事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
10	泊ふ頭	3.1	×	○	—	事業実施区域の一部が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
11	新港ふ頭（那覇クルーズターミナル含む）	2.7	○	○	×	事業実施区域の一部が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
12	首里城公園	5.8	×	○	—	西のアザナより事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。

注 1：表中の番号は、図 7.17.1-4 眺望地点の抽出結果図面及び写真 7.17.1-1(1)～(11)眺望地点からの眺望状況写真に対応する。

2：夜間における眺望の撮影ができなかった理由としては、施設の閉鎖等により撮影を行えなかった。

表 7.17.1-7(2) 眺望地点における眺望状況

番号	地点名	眺望距離 (km)	夜間における撮影の有無	視認性		備考
				日中	夜間	
13	繁多川公園	5.9	○	○	×	事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
14	旭ヶ丘公園（波の上ビーチ含む）	3.1	○	○	×	事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
15	新港第一防波堤（通称：一文字）	1.4	×	○	—	事業実施区域が捉えられる。
16	沖縄西海岸道路からの眺望	3.0	○	○	×	事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
17	飛行機からの眺望	3.8	×	○	—	事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
18	フェリーからの眺望	3.0	×	○	—	事業実施区域が捉えられるが、遠距離のため詳細な状況は捉えられない。
19	沖縄県中央卸売市場のバス停	0.09	×	○	—	事業実施区域に隣接していることから、詳細な状況が捉えられる。

注1：表中の番号は、図 7.17.1-4 眺望地点の抽出結果図面及び写真 7.17.1-1(1)～(11)眺望地点からの眺望状況写真に対応する。

2：夜間における眺望の撮影ができなかった理由としては、施設の閉鎖等により撮影を行えなかった。

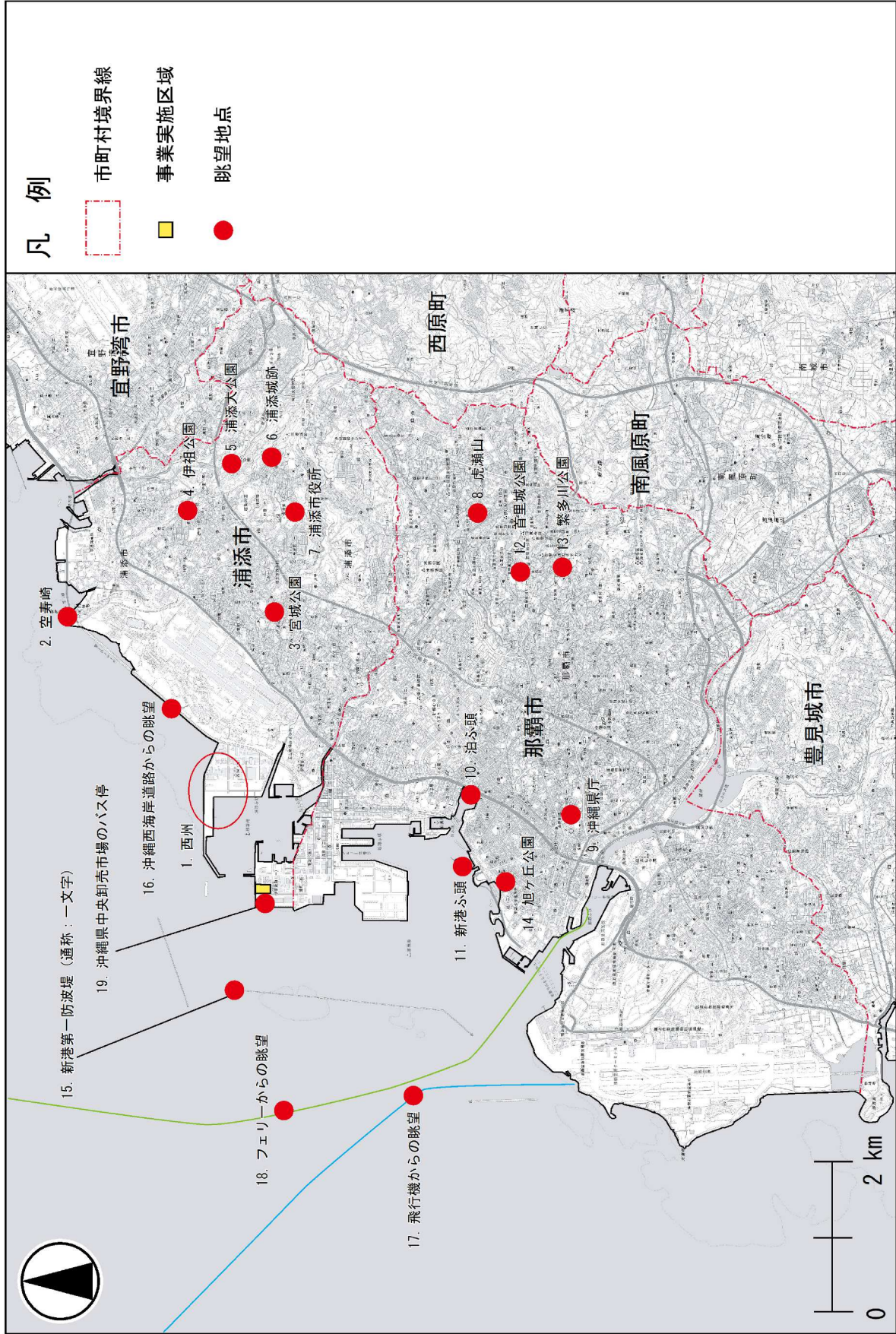


図 7.17.1-4 眺望地点の抽出結果

写真 7.17.1-1(1) 眺望地点からの眺望状況

地点		
1. 西洲	眺望点の 状況	工業地帯に存在する岸壁。護岸からの眺望がある。 
	眺望景観 の状況	新港ふ頭などが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 
2. 空寿崎	眺望点の 状況	空寿崎は浦添市の北西に位置し、市内で唯一残された自然海岸である。自然海岸からの眺望がある。付近に仮設駐車場(カーミー地区)を有する。 
	眺望景観 の状況	沖縄西海岸道路などが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。夜間は、事業実施区域が眺望できない。 

○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

写真 7.17.1-1(2) 眺望地点からの眺望状況

地点		
3. 宮城 公園	眺望点の 状況	仲西中学校に隣接する公園。駐車場はない。 
	眺望景観 の状況	公園内の高台より浦添市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 夜間は、事業実施区域が眺望できない。 
4. 伊祖 公園	眺望点の 状況	伊祖城跡にある公園。遊具・広場がある。駐車場を有する。 
	眺望景観 の状況	公園内の展望台より浦添市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 夜間は、事業実施区域が眺望できない。 

○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

写真 7.17.1-1(3) 眺望地点からの眺望状況

地点		
5. 浦添 大公園	眺望点の 状況	<p>多くの自然林を含む丘陵地に作られた公園。飲食店と隣接する展望台、遊具、浦添城跡、浦添ようどれがある。駐車場を有する。</p> 
	眺望景観 の状況	<p>公園内の展望台より浦添市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 夜間は、事業実施区域が眺望できない。</p> 
6. 浦添 城跡	眺望点の 状況	<p>浦添大公園内の浦添城跡近傍の展望台。浦添ぐすく・ようどれ館の駐車場から約100m先に位置する。</p> 
	眺望景観 の状況	<p>浦添市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 夜間は、事業実施区域が眺望できない。</p> 

○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

写真 7.17.1-1(4) 眺望地点からの眺望状況

地点		
7. 浦添 市役所	眺望点の 状況	浦添市役所 9 階の展望台。浦添市役所の駐車場が利用できる。  
	眺望景観 の状況	9 階展望台より浦添市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 
8. 虎瀬山 (虎瀬 公園一 帯)	眺望点の 状況	住宅地に囲まれた公園。駐車場はない。  
	眺望景観 の状況	視界はやや狭いが那覇市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 夜間は、事業実施区域が眺望できない。   <p style="text-align: right;">夜間</p>

○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

写真 7.17.1-1(5) 眺望地点からの眺望状況

地点		
9. 沖縄 県庁	眺望点の 状況	<p>県庁 14 階の展望室。飲食店が併設されており、飲食店からも那覇市の街並みが眺望できる。県庁の駐車場が利用できる。</p> 
	眺望景観 の状況	<p>那覇市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。</p> 
10. 泊ふ頭	眺望点の 状況	<p>とまりん 4 階のテラス。喫煙所になっており、港内が眺望される。有料駐車場を有する。</p> 
	眺望景観 の状況	<p>那覇港内、泊大橋などが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。</p> 








○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

写真 7.17.1-1(6) 眺望地点からの眺望状況

地点		
11. 新港ふ頭 (那覇クルーズターミナル含む)	眺望点の状況	大型クルーズ船が寄港する旅客施設。 
	眺望景観の状況	海や那覇市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 夜間は、事業実施区域が眺望できない。 
12. 首里城公園	眺望点の状況	首里城公園内の無料立入り区域にある西のアザナという展望台。首里城公園は有料駐車場を有する。 
	眺望景観の状況	西のアザナより那覇市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 

○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

写真 7.17.1-1(7) 眺望地点からの眺望状況

地点		
13. 繁多川 公園	眺望点の 状況	<p>繁多川公園内の高台にあるベンチ。右下の写真に撮影されている東屋は、封鎖されている。駐車場はない。</p>  
	眺望景観 の状況	<p>那覇市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。夜間は、事業実施区域が眺望できない。</p>   <p style="text-align: right;">夜間</p>
14. 旭ヶ丘 公園 (波の上 ビーチ 含む)	眺望点の 状況	<p>那覇市街地に存在する公園。隣接する若狭海浜公園の有料駐車場が利用できる。</p>   <p style="text-align: center;">波の上ビーチ</p>   <p style="text-align: center;">旭ヶ丘公園展望台</p>

○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

写真 7.17.1-1(8) 眺望地点からの眺望状況

地点		
14. 旭ヶ丘公園 (波の上 ビーチ 含む)	眺望景観 の状況	<p>那覇西道路高架や海が眺望され、事業実施区域方向が眺望される。夜間は、事業実施区域が眺望できない。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>波の上ビーチ (日中)</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>波の上ビーチ (夜間)</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>旭ヶ丘公園展望台 (日中)</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>旭ヶ丘公園展望台 (夜間)</p> </div> </div> </div>

○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

写真 7.17.1-1(9) 眺望地点からの眺望状況

地点		
15. 新港第一防波堤 (通称： 一文字)	眺望点の 状況	那覇港の沖合に存在する離岸堤。移動手段は船のみ。 
	眺望景観 の状況	那覇市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 
16. 沖縄西 海岸道 路から の眺望	眺望点の 状況	西洲以北の沖縄西海岸道路。海、浦添の海岸沿いの街並みが眺望できる。 
	眺望景観 の状況	事業実施区域方向が眺望される。 夜間は、事業実施区域が眺望できない。 

○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

写真 7. 17. 1-1 (10) 眺望地点からの眺望状況

地点		
17. 飛行機 からの 眺望	眺望点の 状況	那覇空港を離陸した飛行機の機内。
	眺望点の 状況	浦添市、那覇市の街並みなどが眺望され、事業実施区域方向が眺望される。 
18. フェリ ーから の眺望	眺望点の 状況	フェリーからの眺望。那覇市の街並みが眺望できる。 
	眺望景観 の状況	事業実施区域方向が眺望されるが、フェリーが事業実施区域に最接近すると、午前は朝日の逆光、夕方は日没となり目視は難しい。  那覇港→本部港 (明け方) 本部港→那覇港 (夕方)

○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

写真 7.17.1-1(11) 眺望地点からの眺望状況

地点		
19. 沖縄県中央卸売市場のバス停	眺望点の状況	<p>事業実施区域に隣接する沖縄県中央卸売市場のバス停。</p> 
	眺望景観の状況	<p>事業実施区域を一望することができる。</p> 

○：視認できた浦添市クリーンセンターの煙突

b. 景観資源の状況

景観資源の状況を表 7.17.1-8 に、景観資源の位置を図 7.17.1-5 に示す。

表 7.17.1-8 景観資源の状況

景観資源	概要
重要な地形地質 海成段丘 石灰岩堤	海成段丘は、沖縄島で一般的に見られる地形で、「第3回自然環境保全基礎調査」で自然景観資源に選定されている。本調査地域においても西海岸沿いを除いた内陸部に広く分布している。 石灰岩堤は、「自然環境の保全に関する指針 沖縄島編」で沖縄島における特異な地形・地質に選定されている。本調査地域に点在している。
自然景観（緑地）	浦添市、那覇市には公園や自然緑地が点在している。
自然景観（河川・海岸）	小湾川、安謝川の川あそび場、西海岸の海岸線一帯、干潟、サンゴ礁が存在している。

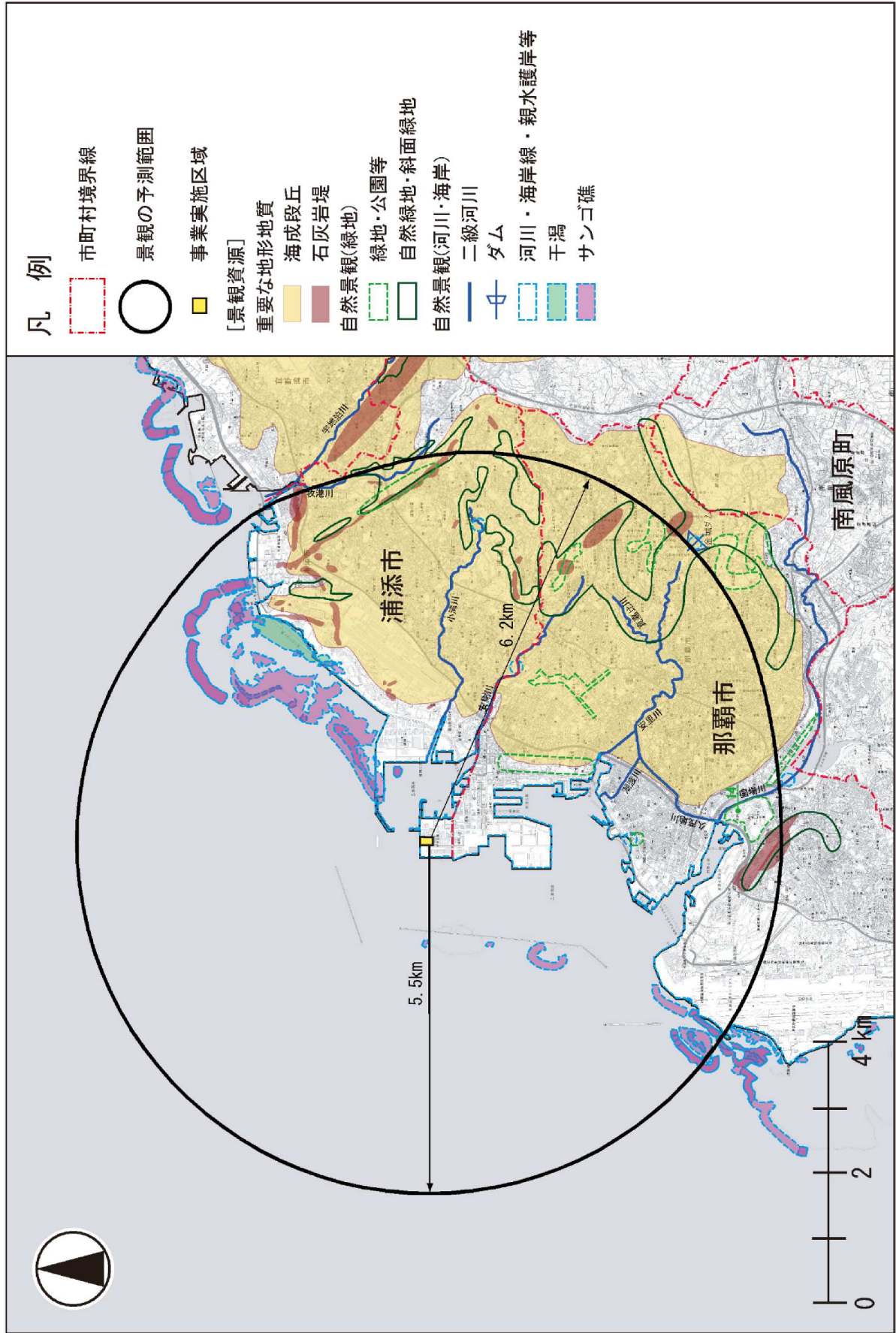


図 7.17.1-5 景観資源位置図

c. 主要な眺望景観の価値の把握

主要な眺望景観について、「環境アセスメント技術ガイド 生物の多様性・自然との触れ合い」（2017年3月、一般社団法人 日本環境アセスメント協会）による眺望景観の手法に従い、普遍的価値及び固有価値に区分し、その価値を把握した。

眺望景観の認識の対象と代表的な指標例を表 7.17.1-9 に、主要な眺望景観の価値の状況を表 7.17.1-10(1)～(3)に示す。

表 7.17.1-9 眺望景観の認識の対象と代表的な指標例

価値の分類	価値の対象	代表的な指標（例）
普遍価値	自然性	・緑視率、人工物の視野内占有率
	眺望性	・視野角、視界量（可視空間量、遮蔽度） ・視野構成（仰・俯瞰、近・中遠景の構成）
	利用性	・利用者数、利用のしやすさ、利用者の属性の幅
	主題性	・主要な興味対象の有無 ・興味対象の見込み角（興味対象の水平・垂直方向の見えの大きさ） ・興味対象との間に介在する地形・地被・地物 ・視軸の明確さ
	力量性	・視距離、見えの面積、仰角、奥行き感、高さ
	調和性	・背景との色彩対比（明度・彩度・輝度） ・背景の支配線（スカイライン）の切断の有無 ・シルエット率 ・背景の支配線（スカイライン）との形状的類似性 ・背景とのスケール比 ・興味対象との位置関係
	統一性	・複雑度（形態的類似性、色彩的類似性） ・整然度（配置の規則性、リズム感）
	審美性	・美しさ（普遍価値の総合的な指標）
固有価値	固有性	・他にはない際立った視覚的特徴
	歴史性	・古い時代から継承されてきた視覚的特徴 ・歴史的史実を想起させる視覚的特徴
	郷土性	・地域の原風景として想起される視覚的特徴 ・地域のシンボルとして認識されている視覚的特徴
	減少性	・地域において失われつつある視覚的特徴
	親近性	・地域の人々に親しまれている視覚的特徴

出典：「環境アセスメント技術ガイド 生物の多様性・自然との触れ合い」（2017年3月、一般社団法人 日本環境アセスメント協会）

表 7. 17. 1-10(1) 主要な眺望景観の価値の状況

主要な眺望景観	価値の分類	認識の対象	有する価値
1. 西洲 	普遍価値	利用性	○：護岸部は、散策等に利用されている。
	固有価値	固有性	○：湾内を一望できる。
2. 空寿崎 	普遍価値	利用性	○：護岸部は、散策等に利用されている。
	固有価値	固有性	◎：西海岸を一望できる。
親近性		○：日常的な環境である。	
3. 宮城公園 	普遍価値	自然性	△：人工物として、市内の建物が見られる。
		利用性	◎：地域の憩いの場として利用されている。
固有価値	親近性	◎：眺望景観の場として親しまれている。	
4. 伊祖公園 	普遍価値	自然性	△：人工物として、市内の建物が見られる。
		利用性	◎：地域の憩いの場として利用されている。
固有価値	親近性	◎：眺望景観の場として親しまれている。	
5. 浦添大公園 	普遍価値	自然性	△：人工物として、市内の建物が見られる。
		利用性	◎：地域の憩いの場として利用されている。
固有価値	親近性	◎：展望台として整備されており、眺望景観の場として親しまれている。	
6. 浦添城跡 	普遍価値	自然性	△：人工物として、市内の建物が見られる。
		利用性	◎：観光地となっており、また、地域の憩いの場として利用されている。
固有価値	歴史性	◎：13世紀の琉球王朝時代から現在に至る城跡。	
	親近性	◎：展望台として整備されており、眺望景観の場として親しまれている。	
7. 浦添市役所 	普遍価値	自然性	△：人工物として、市内の建物が見られる。
		利用性	◎：地域の憩いの場として利用されている。
固有価値	親近性	◎：展望台として整備されており、眺望景観の場として親しまれている。	

注：有する価値について、◎：高い、○：中程度、△：低い

表 7. 17. 1-10(2) 主要な眺望景観の価値の状況

主要な眺望景観	価値軸	認識項目	有する価値
8. 虎瀬山（虎瀬公園一帯） 	普遍価値	自然性	△：人工物として、市内の建物が見られる。
		利用性	◎：地域の憩いの場として利用されている。
	固有価値	親近性	◎：眺望景観の場として親しまれている。
9. 沖縄県庁 	普遍価値	自然性	△：人工物として、市内の建物が見られる。
		利用性	◎：地域の憩いの場として利用されている。
	固有価値	親近性	◎：展望台として整備されており、眺望景観の場として親しまれている。
10. 泊ふ頭 	普遍価値	自然性	○：人工物が占める割合は大きいですが、広い視野を確保できる。
		利用性	○：観光客等の利用者が眺望する。
	固有価値	固有性	◎：港内を一望できる。
11. 新港ふ頭（那覇クルーズターミナル含む） 	普遍価値	自然性	○：人工物が占める割合は大きいですが、広い視野を確保できる。
		利用性	○：観光客等の利用者が眺望する。
	固有価値	固有性	◎：港内を一望できる。
12. 首里城公園 	普遍価値	利用性	◎：観光客等の多くの利用者が眺望する。
	固有価値	歴史性	◎：首里城跡など世界遺産に指定された歴史的文化財。
		親近性	◎：展望台として整備されており、多くの観光客等に眺望景観の場として親しまれている。
13. 繁多川公園 	普遍価値	自然性	△：人工物として、市内の建物が見られる。
		利用性	◎：地域の憩いの場として利用されている。
	固有価値	親近性	◎：眺望景観の場として親しまれている。
14. 旭ヶ丘公園（波の上ビーチ含む）  波の上ビーチ	普遍価値	自然性	○：人工物として、泊大橋が眺望を遮っている。
		利用性	○：泊大橋のたもとであり、観光客等がビーチとして利用している。
	固有価値	親近性	◎：観光客等から地域の憩いの場として利用されている。

注：有する価値について、◎：高い、○：中程度、△：低い

表 7. 17. 1-10(3) 主要な眺望景観の価値の状況

主要な眺望景観	価値軸	認識項目	有する価値
14. 旭ヶ丘公園（波の上ビーチ含む）  旭ヶ丘公園	普遍価値	自然性	○：人工物として、市内の建物が見られる。
		利用性	◎：地域の憩いの場として利用されている。
	固有価値	親近性	◎：眺望景観の場として親しまれている。
15. 新港第一防波堤（通称：一文字） 	普遍価値	自然性	◎：人工物が占める割合が小さい。眺望を遮る建物等がなく、広い視野を確保できる。
		利用性	◎：釣り客が眺望する。
	固有価値	親近性	◎：防波堤として整備されており、釣りの場として親しまれている。
16. 沖縄西海岸道路からの眺望 	普遍価値	利用性	◎：護岸部は、散策等に利用されている。
	固有価値	固有性	◎：西海岸を一望できる。
		親近性	○：日常的な環境である。
17. 飛行機からの眺望 	普遍価値	利用性	◎：飛行機による人の乗降や物資の輸送に利用されている。
	固有価値	固有性	◎：新港ふ頭地区周辺が一望できる。
18. フェリーからの眺望 	普遍価値	利用性	◎：フェリーによる人の乗降や物資の輸送に利用されている。
	固有価値	固有性	◎：新港ふ頭地区周辺が一望できる。
19. 沖縄県中央卸売市場のバス停からの眺望 	普遍価値	利用性	◎：バス利用者が眺望する。
	固有価値	親近性	○：日常的な環境である。

注：有する価値について、◎：高い、○：中程度、△：低い

2) 困繞景観の状況

① 景観区の区分

a. 地形の状況

地形分類図を図 7.17.1-6 に示す。

事業実施区域は、その他（埋立地）となっている。

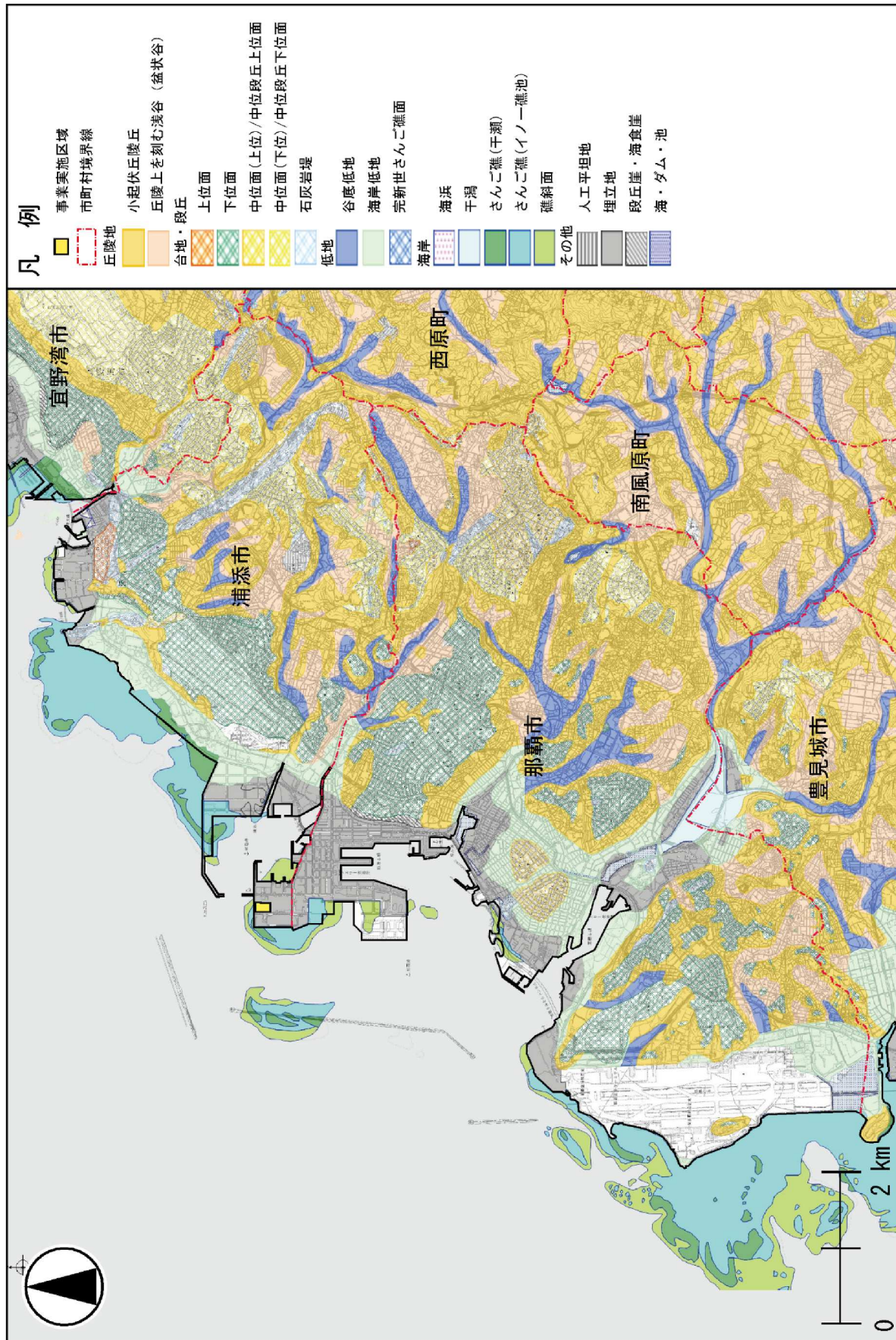


図 7.17.1-6 地形分類図

b. 植生の状況

植生調査結果に基づき、事業実施区域内の環境を区分した結果を図 7.17.1-7 に示す。植生等から、樹林地、造成地と海岸に区分された。

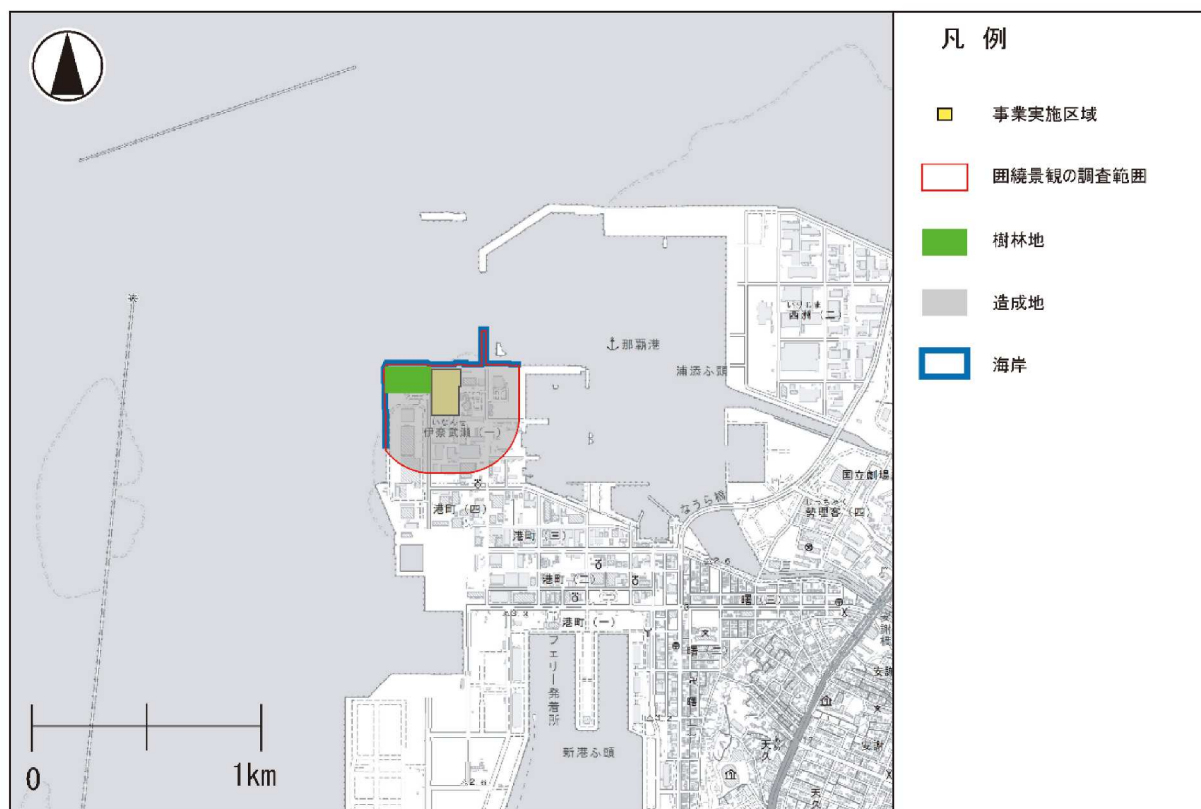


図 7.17.1-7 景観区（植生区分等）の分布

c. 景観区の設定

景観区については、地形に大きな変化はみられないため、その区分は植生区分等の結果を採用した。

景観区毎の場の状況を表 7.17.1-11 に示す。

表 7.17.1-11 景観区毎の場の状況

景観区	景観区の状況
樹林地	<ul style="list-style-type: none"> 調査範囲の北西部に分布しており、事業実施区域及びその周辺で最も目立つ景観資源である。 群落としては、アダン植林、オオハマボウ植林、クサトベラ植林がみられる。
造成地	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施区域及びその周辺には、沖縄県中央卸売市場やいなんせ会館等の施設が存在する。
海岸	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施区域及びその周辺には、青い海が広がり、最大の景観資源となっている。 護岸には、散策や休憩をする人、又は釣り人が多い場所となっている。

d. 景観区毎の価値の把握

景観区毎の価値の把握については、「環境アセスメント技術ガイド 生物の多様性・自然との触れ合い」（2017年3月、一般社団法人 日本環境アセスメント協会）による圍繞景観の手法に従い、普遍的価値及び固有価値に区分し、その価値を把握した。

圍繞景観の認識の対象と代表的な指標例を表 7.17.1-12 に、景観区毎の状態を表 7.17.1-13(1)～(3)に示す。

表 7.17.1-12 圍繞景観の認識の対象と代表的な指標例

価値の分類	価値の対象	代表的な指標（例）
普遍価値	多様性	・地形の複雑度、植生、土地利用のモザイク度
	自然性	・植生自然度、緑被率、大径木の存在、水際線の形態、河川の流路の形状、水の清浄さ
	傑出性	・高さ、大きさ、広さ、深さ、長さ、古さ
	視認性	・見られやすさ（被視頻度）
	利用性	・利用者数、利用のしやすさ、利用者の属性の幅
	快適性	・森林内の見通し度 ・水辺への接近性 ・空間的広がり ・人工物などによる圧迫感の程度 ・人工物などの色彩調和の状況
固有価値	固有性	・地名と関わりの深い要素の存在 ・他にはない独特の要素の存在
	歴史性	・古い時代から継承されてきた要素の存在 ・歴史的遺産、史跡などの存在
	郷土性	・地域の生活習慣や文化と関わりの深い要素の存在 ・地域の内と外とを区別する要素の存在 ・地域のシンボルとなっている要素の存在
	減少性	・地域にとって失われつつある要素の存在
	親近性	・地域の人々に親しまれている要素の存在

出典：「環境アセスメント技術ガイド 生物の多様性・自然との触れ合い」（2017年3月、一般社団法人 日本環境アセスメント協会）

表 7. 17. 1-13(1) 景観区の状態

景観区	樹林地
場の状態	海岸近くに生育する植物が調査範囲の北西部に分布している。 夜間は照明などがいないため、周囲の状況を確認することはできない。
利用の状態	—
普遍価値	自然性
固有価値	—
眺めの状態 (昼間)	
	
(夜間)	
	

表 7. 17. 1-13(2) 景観区の状態

景観区	造成地
場の状態	事業実施区域及びその周辺は埋立地であり、沖縄県中央卸売市場や運輸流通施設等が存在している。
利用の状態	—
普遍価値	—
固有価値	—

眺めの状態

(昼間)



(夜間)



表 7. 17. 1-13(3) 景観区の状態

景観区	海岸
場の状態	事業実施区域の周辺に隣接している。 夜間は照明などがいないため、周囲の状況を確認することはできない。
利用の状態	休憩や散策、釣りに利用されている。
普遍価値	自然性、視認性、利用性、快適性
固有価値	固有性、親近性
眺めの状態 (昼間)	
	
(夜間)	
	

② 景観区の利用状況

景観区毎の利用状況を表 7. 17. 1-14 に示す。

海岸は、西海岸の海が眺望できることから、地域の人々による利用が多く見られる。なお、樹林地の利用者はみられず、造成地では地域の人が休憩や散歩を行うなど、日常の利用がみられた。

各景観区において調査を行ったヒアリング結果を表 7. 17. 1-15 に示す。

表 7. 17. 1-14 景観区の利用状況

景観区	利用状況
樹林地	<ul style="list-style-type: none">・樹林地を利用する人は確認されなかった。
造成地	<ul style="list-style-type: none">・造成地には一部、緑地があることから、休憩や散歩を目的とした利用者がみられた。・造成地の周囲は海に面していることから、釣りを目的とした利用者がみられた。・那覇市内及び浦添市内からの利用者が多く、交通手段は徒歩又は自動車により訪れていた。・利用者は、40～60代の男性となり、当該地域を利用した感想では、概ね満足しているとの回答が多かった。
海岸	<ul style="list-style-type: none">・海岸では、休憩や散歩、釣りを目的とした人以外では、マリンスポーツを目的に訪れている人がいた。・那覇市内及び浦添市内からの利用者が多く、交通手段は自動車又はバイクにより訪れていた。・利用者は、20～60代の男性となり、当該地域を利用した感想では、概ね満足しているとの回答が多かった。

表 7.17.1-15 ヒアリング結果

ヒアリング項目		ヒアリング結果（人）	
		造成地	海岸
当該地域に来た理由	①休憩・散歩	3	2
	②マリンスポーツ	0	1
	③海水浴	0	0
	④釣り	1	3
	⑤観光	0	0
	⑥その他	2	0
交通手段	①徒歩	2	0
	②自家用車	3	5
	③タクシー	0	0
	④バイク	0	1
	⑤バス	0	0
	⑥自転車	1	0
	⑦レンタカー	0	0
	⑧その他	0	0
誰と来たか	①単独	4	4
	②家族	1	1
	③友人等	1	1
	④団体ツアー等	0	0
	⑤その他	0	0
訪問回数	①初めて	1	3
	②過去に訪れたことがある	5	3
どこから来たか	①浦添市内	1	1
	②那覇市内	5	5
	③他市町村	0	0
	④県外	0	0
当該地域を利用した感想	①満足している	3	2
	②まあ満足している	1	2
	③どちらとも言えない	1	2
	④やや不満である	0	0
	⑤不満である	1	0
性別	①男性	6	6
	②女性	0	0
年代	①10代	0	0
	②20代	0	1
	③30代	0	1
	④40代	1	3
	⑤50代	3	0
	⑥60代	2	1
	⑦70代以上	0	0